

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-168562(P2004-168562A)

【公開日】平成16年6月17日(2004.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2004-023

【出願番号】特願2002-333183(P2002-333183)

【国際特許分類第7版】

C 0 4 B 22/08

C 0 4 B 22/06

C 0 4 B 22/10

C 0 4 B 22/12

C 0 4 B 22/14

C 0 4 B 24/12

C 0 4 B 24/26

C 0 4 B 28/02

E 0 4 G 21/02

E 2 1 D 11/10

// C 0 4 B 103:12

C 0 4 B 103:14

【F I】

C 0 4 B 22/08 A

C 0 4 B 22/06 A

C 0 4 B 22/06 Z

C 0 4 B 22/10

C 0 4 B 22/12

C 0 4 B 22/14 A

C 0 4 B 24/12 A

C 0 4 B 24/26 E

C 0 4 B 28/02

E 0 4 G 21/02 1 0 3 B

E 2 1 D 11/10 D

C 0 4 B 103:12

C 0 4 B 103:14

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月2日(2004.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

本組成物中のイオウ、アルミニウム、及びフッ素の3元素の成分と、ケイ酸塩の配合割合は、凝結性状、強度発現性、液の粘性、あるいは懸濁性等から、 SO_3 換算のイオウ成分100部に対して、アルミニウム成分が Al_2O_3 換算で25~110部、フッ素成分が元素換算で10~50部、及びケイ酸塩がSi換算で5~35部であることが好ましく、アルミニウム成分が Al_2O_3 換算で40~80部、フッ素成分が元素換算で20~40部、及びケイ酸塩がSi換算で10~20部であることがより好ましい。この範囲外では、急結性が得られない場合や、液体急結剤の

粘性が高くなり、圧送性が悪くなる場合がある。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００７５】

【表 1】

実験 No.	イ オ ウ 成 分	アル ミニ ウム 成 分	フッ 素 成 分	ケイ 酸 塩	材 料	貫入抵抗値			ポン プ圧 送性	備 考
						1 分	3 分	10分		
1- 1	0	60	30	15	A, F, I	0.8	1.4	2.0	×	比較例
1- 2	100	0	30	15	D, F, I	0.0	0.3	2.2	×	比較例
1- 3	100	20	30	15	B, D, F, I	0.5	2.2	8.1	○	実施例
1- 4	100	25	30	15	B, D, F, I	0.8	3.1	11.2	○	実施例
1- 5	100	40	30	15	A, B, F, I	1.3	4.2	11.9	○	実施例
1- 6	100	60	30	15	A, B, F, I	2.0	6.4	13.4	○	実施例
1- 7	100	80	30	15	A, B, F, I	2.1	6.7	13.9	○	実施例
1- 8	100	110	30	15	A, B, F, I	2.2	7.3	15.1	○	実施例
1- 9	100	120	30	15	A, B, F, I	2.1	7.5	15.3	△	実施例
1-10	100	60	0	15	A, B, I	0.8	2.8	3.1	×	比較例
1-11	100	60	5	15	A, B, F, I	0.3	2.4	7.9	○	実施例
1-12	100	60	10	15	A, B, F, I	1.1	3.9	10.6	○	実施例
1-13	100	60	20	15	A, B, F, I	1.5	4.8	11.5	○	実施例
1-14	100	60	40	15	A, B, F, I	1.9	5.6	13.1	○	実施例
1-15	100	60	50	15	A, B, F, I	2.0	7.8	14.8	○	実施例
1-16	100	60	60	15	A, B, F, I	2.2	8.3	13.1	△	実施例
1-17	100	60	30	0	A, B, F	1.7	5.2	9.5	×	比較例
1-18	100	60	30	3	A, B, F, I	1.9	5.5	9.8	○	実施例
1-19	100	60	30	5	A, B, F, I	2.0	5.6	12.0	○	実施例
1-20	100	60	30	10	A, B, F, I	2.0	6.1	12.7	○	実施例
1-21	100	60	30	20	A, B, F, I	2.1	6.6	13.2	○	実施例
1-22	100	60	30	35	A, B, E, I	2.2	7.0	13.4	○	実施例
1-23	100	60	30	40	A, B, F, I	2.0	7.2	13.8	△	実施例

イオウ成分は SO_3 換算の、アルミニウム成分は Al_2O_3 換算の、フッ素成分は元素換算の、及びケイ酸塩は Si 換算の(部)、貫入抵抗値は (N/mm^2)